

CITIZEN®

電波時計 取扱説明書 (照明付掛時計)

～ 製品の特長 ～

- 標準電波を受信して正しい時刻に自動修正
- 暗くなると文字板面を照明します
- 明るさを無段階調節することができます
- 暗くなると秒針が12時位置に停止します

お買い上げいただきありがとうございます。

お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

お読みになった後もお手元に保管して、必要に応じてご覧ください。

アフターサービスについて

この時計のアフターサービスは、お買い上げ販売店がいたします。次の記載事項と保証書をよくお読みの上、ご利用ください。

- 修理部品の保有について
この時計の修理用性能部品（電子回路など）は製造打ち切り後、7年間を基準に保有しています。ただし、外装部品（ケース類）の修理には、類似代替品の使用や現品交換で対応させていただくことがあります。
- 修理可能期間について
無料保証期間が過ぎても、この時計の性能部品保有期間中は、原則として有料修理が可能です。ただし、修理内容や送料などにより修理代金が高額になる場合がありますので、販売店とよくご相談ください。
- 転居または贈答品の場合
お買い上げ販売店でのアフターサービスが受けられない場合は、お客様相談室にご相談ください。保証期間中の場合は、販売店の保証書が必要です。

製造販売元 リズム時計工業株式会社

〒330-9551 埼玉県さいたま市大宮区北袋町1丁目299番12
http://www.rhythm.co.jp

お問い合わせ先 お客様相談室 0120-557-005

受付時間 9:00～17:00（土日、祝日および当社休日を除く）

お問い合わせに際しては、時計裏面に表示してあります製品番号(型番)をお伝えください。
例 8MY○○○、8MYA○○○ (Y1309)

おもな製品仕様

時間精度 標準電波受信成功直後の表示精度 秒針 ±1秒 時針/分針 目盛りに対して±3度
標準電波を受信しないとき 平均月差±20秒（温度が5～35℃のとき）

使用温度範囲 -10℃～50℃ *結露しないこと

使用電池 単3形アルカリ乾電池 JIS規格 LR6 6個

電池寿命 下記「電池寿命と使用条件」参照

標準電波 標準電波を受信して時刻を修正

受信局 福島局/九州局 自動選択

受信回数 最少 1回/日、最多 6回/日

受信機能 ボタン操作でON/OFF切り替え

サーチ機能 受信局、電波の強弱表示

手動時刻合わせ ボタン操作

照明機能 明暗センサーと連動して暗いところで文字板面を照明

明るさ調節 ロータリー式 無段階調節

暗所秒針停止 明暗センサーと連動して、暗くなると秒針を12時位置に停止

電池の交換時期 交換時期になると秒針が常時12時位置に停止

お知らせ機能

電池寿命と使用条件 自動照明を1日あたり8時間使用
照度調節つまみ位置 最小(●暗) 中間位置 最大(●明)
電池の寿命 約2年3ヵ月 約1年8ヵ月 約1年

※電池からの液漏れを防止するため、時計が動いていても5年を超えて使い続けしないでください。

電池は照明機能を使わないと長持ちしますが5年以内に交換してください。

※電池寿命は、標準電波の受信に成功しているときのものです。

標準電波の電波受信回数は受信状態により変化します。

受信開始時刻

2時16分20秒、3時16分20秒、4時16分20秒、12時16分20秒、13時16分20秒、14時16分20秒

2時16分20秒は必ず受信を行う。

●製品仕様は改良のため、予告なく変更することがあります。

付属品

単3形アルカリ乾電池 6個 木ねじ 1個 取付金具 1個 <子> 4本
取扱説明書 本書 保証書 1枚

CITIZENはシチズンホールディングス株式会社の登録商標です。

当社は CITIZEN ブランドライセンス商品の掛時計、置時計、めざまし時計、温度湿度計、ストップウォッチを企画・製造・販売しています。

この取扱説明書を許可なく複製、変更することを禁じます。本製品を使用することによって生じたいかなる支出、損益、その他の損失に対してなんら責任を負いかねますのでご了承ください。

安全にお使いいただくためにはじめにお読みください

ここに示した注意事項は、あなたや他の人への危害や損害を未然に防ぐためのものです。必ず守ってください。

図記号の説明 ○は、禁止（してはいけないこと）を示しています。

●は、指示する行為を必ず守ることを示しています。

警告 死亡または重傷などを負う可能性が想定される内容

●誤飲を防止するため、小さな部品や電池は、幼児の手の届く所に置かない
必ず守る 万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師の治療を受けてください。

●電池からの液漏れや発熱、破裂を防止するために、次のことを守る
禁止 ●電池に傷をつけたり、分解したりしない。 ●電池をショートさせない。
●電池を充電しない。 ●加熱したり、火の中に入れてたりしない。

●電池から液漏れが起きてしまったときは、素手でさわらない

●目や皮膚についたら、すぐに水道水でよく洗い流して医師の治療を受けてください。衣服に付着した場合は、すぐに水道水で洗い流してください。

アルカリ乾電池の場合、失明や炎症などの障害が発生する危険性が高くなります。

●電池を外して、漏れた液を布や紙でよくふき取ってください。修理が必要なときは、お買い上げの販売店または当社お客様相談室にご相談ください。

注意 傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容

●電池の⊕⊖を正しく入れる
必ず守る 液漏れや発熱の原因となり、故障やけがの原因になります。

●浴室やサウナ、温室など、高温・高湿になる所では使わない
さびの発生や故障の原因になります。

●強い振動や衝撃を与えない
禁止 故障や破損の原因になります。

●分解したり改造しない
分解禁止 けがや故障の原因になります。

●下記のような場所では使わない
禁止 品質や精度の低下、部材の変形、劣化、故障の原因になります。

- 直射日光が当たる所。
- 車中や船舶、工事現場など、振動の激しい所。
- 暖房機器からの風が当たる所。
- プール、温泉場などガスの発生する所。
- 温度が+50℃以上の所。
- 調理場など多くの油を使用する所。
- 温度が-10℃以下の所。
- ゴムや軟質のポリ塩化ビニルに長い間、直接ふれさせておくと、色移りや付着、変質をすることがあります。
- ほこりが多く発生する所。
- 強い磁気を発生させる機器のそば。

お手入れについて

●汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤や石けん水を、やわらかい布に少量つけてふき取り、その後、からぶきしてください。

●ケースなどの汚れ落としに、ベンジン、シンナー、アルコール、スプレー式クリーナー類は、使用しないでください。

●静電気により、時計や掛けた壁面が汚れることがありますので、定期的に汚れを落としてください。

電池・時計の廃棄

●お住まいの自治体の指定に従ってください。

●電池と時計を分別して廃棄してください。

電池のについて

電池の種類について

- マンガン乾電池はアルカリ乾電池に比べて電池寿命が短くなります。
- 一般に充電式の電池は電圧が低く、時計には不向きですので使用しないでください。

電池の寿命について

●付属の電池は、工場を出荷するときに入れていただきますので、製品仕様より短い期間で電池切れになることがあります。

電波時計について

電波時計とは

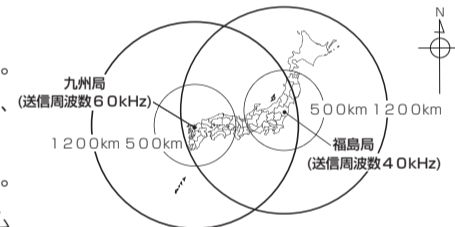
クォーツ時計に標準電波を受信する機能を搭載し、標準電波を受信することにより、自動的に正確な時刻に修正する時計です。標準電波送信所は、福島県の「福島局：おおたかどや山標準電波送信所」と佐賀県と福岡県の県境にある「九州局：はがね山標準電波送信所」の2ヵ所にあります。

電波の受信範囲について

送信所から約1200km離れた場所でも受信可能です。

ただし、受信範囲であっても電波障害（太陽活動、季節、天候、置き場所、時間帯（昼/夜）あるいは地形や建物の影響など）により、受信できないことがあります。

※標準電波の詳細については、情報通信研究機構のホームページをご覧ください。(http://jij.nict.go.jp)



この時計は福島局と九州局に対応しており、標準電波を自動選択して受信します。

標準電波の送信停止について

送信所の定期点検や落雷などの影響により、標準電波の送信が停止することがあります。標準電波の送信状態については「情報通信研究機構」のホームページをご覧ください。

海外でのご使用について

この時計は、日本以外の標準電波は受信できません。海外で使用した場合、まれに日本の標準電波を受信し、日本の標準時を表示したり、ノイズにより誤った時刻を表示することがあります。海外でご使用になるときには、電波受信機能をOFFにして手動で時刻を合わせてお使いください。

電波を受信しにくい環境

次のような場所では受信できない場合や誤った時刻を表示することがあります。

- 工事現場、空港の近くや交通量の多い所など電波障害の起きる所
- 高圧線、テレビ塔、電車の架橋近く
- 金属製の雨戸やブラインドの近く
- 朝夕の時間帯、雨天のとき
- 地下、ビルの中、ビルの谷間など
- 家電製品やOA機器の近く
- スチール机等の金属製家具の上や近く

電池の交換時期お知らせ機能

電池の交換時期になると、明るいところでも秒針が12時位置に停止したままになります。そのまま放置すると電池からの液漏れや誤作動の原因になりますので、速やかに新品の電池にすべて交換してください。

※電池の交換時期になると照明機能が停止します。

※時針と分針は電池の交換時期になってからおよそ1ヵ月前後動きます。

注意 電池の交換 早めに交換して液漏れを防ぎましょう

電池を長期間使い続けると、電池からの液漏れが発生しやすくなります。電池が液漏れを起こすと時計の修理や壁面の修繕などに費用が発生することがあります。

電池からの液漏れや発熱、破裂を防止するために次のことをお守りください。

●時計が停止したときは、速やかに指定の電池に交換するか、電池を取り出す。

●時計が動いていても照明の使いかたに応じて定期的に交換する。

●古い乾電池と新しい乾電池、種類の異なる乾電池を混在して使用しない。

●電池の⊕⊖を逆に入れない。



推奨される電池

①電池に「月-年」で表示されている「使用推奨期限」が電池交換時より4年以上先のもの

例、2014年2月に交換→「02-2018」より先の「使用推奨期限」表示がある電池

② 同一メーカー、同一種類、同一「使用推奨期限」のもの

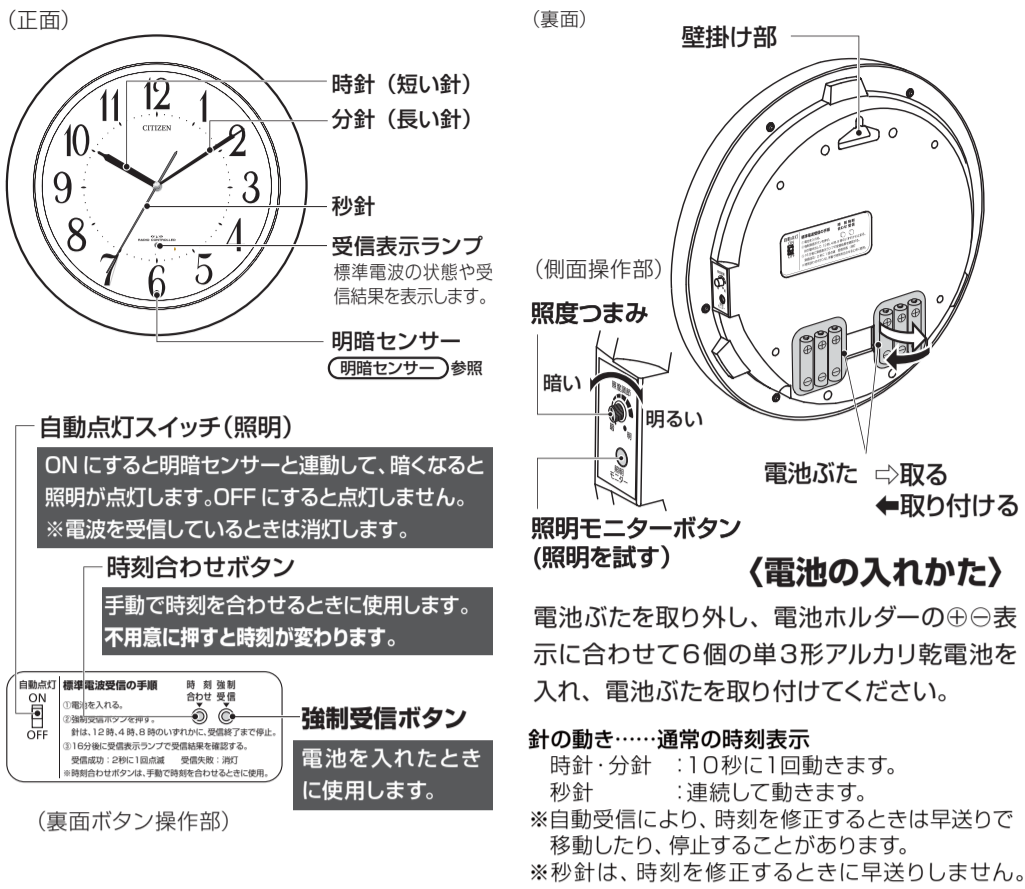
③ 未使用の単3形アルカリ乾電池

使用推奨期限の表示例→ 03-2018

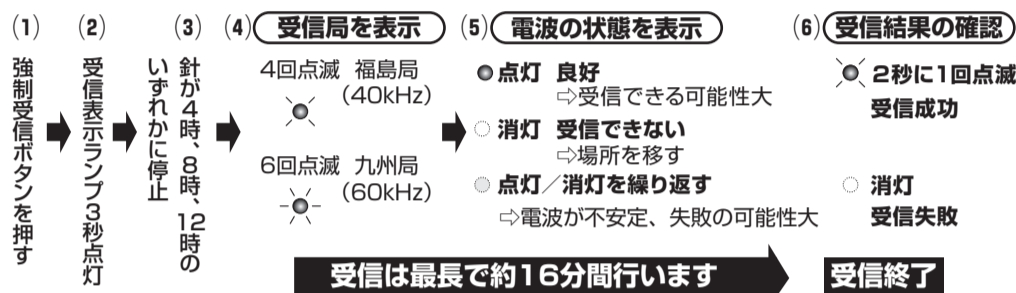
「使用推奨期限」は、JIS規格に定められた性能を保証できる保管期限のことです。使用推奨期限を過ぎた電池も使うことはできますが、本来の性能を発揮することができません。電池は未使用であっても時間とともに徐々に性能が落ちていくためです（自然劣化）。

各部の名称と役割

図は操作説明用ですので、実際の商品と異なることがあります。



標準電波—受信の流れとサーチ機能の使いかた



電波サーチ機能の使いかた……受信しやすい所を探すには

- ①窓際やベランダで(5)まで行き、受信表示ランプが点灯していることを確認します。
 ▶受信表示ランプが消灯しているときは電波を受信できませんので、時間帯や日を改めて試してください。
- ②時計を掛けたい所に移動して、受信状態を受信表示ランプで見ます。
 消灯している場合は、同じ部屋の中でも電波の状態が異なることがありますので、時計の位置を変えてみてください。

標準電波を受信できない場合

- 朝までそのまましておく
 一般的に夜間は電波状態が良くなるので、手で時刻合わせをして一晩そのままにしておくと受信できる可能性が高くなります。1～2日後に受信結果を確認してください。
- 場所を変える/受信をやり直す
 電波を受信しやすい窓ぎわで取扱説明書の日本地図を参考にして、時計の正面または裏面が電波の送信所に向くようにして、強制受信ボタンを押して再度受信を行ってください。
- 時刻を合わせて使用する
 ベランダなど屋外で電波の受信に成功させるか、手で時刻を合わせて使用してください。電波が受信できないときの時間精度は、クォーツ精度になります。

受信できない場合は、下記の操作で時刻を合わせることでご利用になれます。

手動での時刻合わせ…電波を受信できないときや任意の時刻に合わせるとき

時刻合わせボタンを操作することにより、手で時刻を合わせることができます。
 ※時刻合わせボタンを押していないのに、針が早送りで動いているときは、通常の針の動きになってから操作してください。
 ※電波受信機能がONのときは、受信に成功すると時刻を自動的に修正します。

操作 時刻合わせボタンを押すと針が動き始めます。

- 時刻合わせボタンを押してすぐに離すと1分進みます。
- 時刻合わせボタンを押し続けると早送りで動きます。
- 時刻合わせボタンを押すと秒針は停止します。

秒針の動きについて
 時刻合わせボタンを離れたときに、ゼロ秒に設定されます。
 秒針は、秒針が指している時刻になるまで、最長で61秒程度停止しています。

電波受信機能のON/OFF操作

誤受信しやすいところや意図的に時間をずらしてお使いになるときは、電波を受信しないようにすることができます。電波を受信しないときの時間精度はクォーツ精度になります。

電波受信機能をOFFにするには (受信機能を無効にするには)

図のように強制受信ボタンを4回押します。ボタンを押すタイミングによっては、OFFに切り替わらないことがあります。このようなときは、操作を繰り返してください。

手で時刻を合わせてください。

押す 点灯 押す 点灯 押す 点灯 押す 消灯
 (受信表示ランプが点灯したら、すぐに強制受信ボタンを押してください)

※電波受信機能がOFFのときに強制受信ボタンを押すと、受信表示ランプは消灯したままで、針が早送りで動いたり、止まったりしてから時刻を表示します。

電波受信機能をONにするには (受信を開始するには)

電波受信機能は、工場を出荷するときにON(有効)にしています。
 OFFの状態からONにするときは、時刻合わせボタンを押したまま、強制受信ボタンを押してすぐ離し、時刻合わせボタンを離します。その後必ず強制受信ボタンを押して受信を開始させてください。



ご注意
 ※この説明文の中で「押す」は、「押して、すぐ離す」ことです。
 ※電池を取り出しても設定を長い時間保持しますので、電波受信機能をOFFからONにするには、必ず上記の操作をしてください。

1. ご使用方法 電池を入れて時刻を合わせる

標準電波を利用しないで、手で時刻を合わせる場合は、**手動での時刻合わせ**を参照してください。

◎窓際など電波の受信しやすいところでお使いください。

- 1 電池ホルダーの⊕⊖表示に合わせて電池を6個入れる
 ⚠ **注意** 電池の⊕⊖を逆に入れると、電池の液漏れ・発熱・破裂の原因となります。
 - 2 強制受信ボタンを押す (標準電波・受信の流れとサーチ機能の使いかた)参照
 受信表示ランプが点灯して受信を開始します。
 ※針は、早送りですぐに12時、4時、8時のいずれかに移動して、受信が終わるまで停止。
 ※電池を入れた後は必ず強制受信ボタンを押してください。
 ※早送りの途中で針が一時停止することがあります。
 ※受信中はボタン操作をしないでください。
 - 3 時計の掛けかたに従い時計を確実に掛ける
 - 4 受信開始後、16分経過してから受信表示ランプで結果を確認する
 受信表示ランプ 受信成功: 2秒に1回点滅 正しい時刻を表示。
 受信失敗: 消灯 (標準電波を受信できない場合)へ
- ▶ **2. 照明の使いかた**にしたがって照明機能を設定してください。

※受信に失敗した場合、表示されている時刻は正しくありません。
 ※受信に成功しても時刻が正しくないときは、ノイズが原因と考えられますので、設置場所を変えて強制受信ボタンを押してください。
 ※受信表示ランプは、24～25時間以内の受信結果を表示します。

静電気の影響について

静電気の影響により、正常に動かなくなることがあります。このようなときには、強制受信ボタンを押してください。

時計の掛けかた

⚠ **注意** 掛けかたが不適切な場合、時計が落下する危険があります。

- 掛けるときは、上下、左右に軽く動かして、壁掛け部に掛け具(木ねじ)がしっかり掛かっていることを確認してください。
- 垂直に掛けてください。傾くと掛け具から外れるおそれがあります。
- 市販の掛け具を使用するときは、壁掛け部にしっかり掛かるものを選んでください。
- ドアを開閉するときの振動が伝わらない所に設置してください。

木の柱または木質の厚い壁面の場合

- 付属の木ねじが使用できる場所は、木の柱または木質の厚い壁面です。
- 木ねじは下図のとおり、壁面にしっかりねじ込んで固定してください。



石こうボードの壁面の場合

- 付属の取付金具を使用できる場所は、石こうボードの壁面です。
- 取付金具は下図のとおり、付属のくぎ4本でしっかり固定してください。

取り付けかた 取付金具 タイプA 取付金具 タイプB

金具を水平にして①②の順序でくぎを押し込む。

くぎ 取付金具の穴に対して、垂直に押し込む
 取付金具の穴に対して、垂直に押し込む
 石こうボードの壁面

- 壁の材質、取り付け方法を確認の上で使用ください。
- 付属する取付金具のタイプに応じた取り付けをしてください。
- 取付金具は水平に取り付けてください。傾けて取り付けると時計が傾きます。
- くぎは取付金具の穴に対して、垂直に押し込んでください。
- 取付金具には、3.5kg以上のものは掛けないでください。

引っかかっている 引っかかっていない

その他の壁面の場合

- コンクリートなどの壁面に掛ける場合は、壁の材質・構造と時計の重量に合った、市販の掛け具をご使用ください。その際、粘着式や吸盤式は時計が落下する危険がありますので、使用しないでください。

2. 照明の使いかた……暗くなると照明する

自動点灯スイッチをONにすると明暗センサーに連動して、暗くなると文字板を照明します。
 ※電波を受信しているときは照明は消灯します。これは、電波を受信しやすくするためです。

明るさの調節
 自動点灯スイッチをONにして、暗い室内で照度つまみを回して明るさを調節してください。
 ※暗さに対しての目の慣れ具合や室内の明るさにより、照明の明るさの感じかたが変わります。

照明をためず
 照明モニターボタンを押している間、文字板面を照明します。明るさは照度つまみの位置に関係なく明るく光ります。
 照明モニターボタンを押すと受信中でも点灯します。

明暗センサー ……暗くなると秒針停止、自動照明

明暗センサーが暗いと判別した場合、受信表示ランプが消灯し、秒針を12時位置で停止させます。また自動点灯スイッチがONのときは文字板面を照明します。
 昼間や照明器具により照明されているときでも、明るさが不足するとセンサーが働きます。

○十分に明るい所で秒針が常時12時位置に停止するときは、裏面の**電池の交換時期お知らせ機能**をお読みください。